

コンセプト

環境とは大気、水、土の循環であると言われています。この循環の中で生物は育まれています。世界には水にアクセスできない人々、食物を自給出来ない人々、この循環から疎外されている人々がいます。原因は紛争、気候、貧困など様々です。

世界中の誰もが無償でアクセスできる「環境」はコモンズ（公共財）であるとされています。人は大気中から、生きていく上で必要な O_2 酸素を取ります。体内に吸収し体液の濃度を調整する水も生きていく上で必須のものです。地球の循環で得られる窒素、リン、カリウムなどの栄養源を土から吸収した植物が生育し、さらにフードチェーンにより様々な生物が育ちます。そして、最終的に人が生きていく上で食糧として供給されます。

環境と同様、人間にとって欠かせないものの一つに「医療」があります。そして医療は、これらの環境コモンズを享受して生きる、私たち一人一人の健康を維持するものです。医療もまた、コモンズと言えるでしょう。

さらには、これらのコモンズはサステイナブル(持続可能)でなければなりません。これらコモンズをただ食いするやから、フリーライダー（ただ乗り）を放置するのではなく、私たちの考えるコモンズとしての「環境」と「医療」をたくさんの人々に届けることができるよう、活動していきたいと思えます。

具体的な活動

- 1 環境及び医療に関する研究・コンサルティング
 - ・ 個人医療データの管理及び運用
 - ・ ゲノム解析や詳細な病歴手帳による予防医療
 - ・ 西洋医学と東洋医学の融合による医療通訳をはじめとするコンサルティング
- 2 環境と医療の事業統合及び患者支援組織との協働に関するアドバイザー事業
 - ・ 温泉等環境と医療の利用開発
 - ・ 医療プラスチックの代替研究、炭素クレジット、環境教育指導
- 3 地域医療に則した承継のコンサルティング事業
- 4 処方透析やオーバーナイト透析を含む長時間透析療法のコンサルティング
- 5 医療資源が不足するへき地、無医村、途上国等に対する医療支援事業
- 6 奨学金の支給事業
- 7 女性の地位向上及び経済的自立のための支援事業